

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的传统に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2012年10月号 盛岡YMCAは活動てんこ盛り♪



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「サイン」

尾形裕一郎(リーダーOB:チュー)

こんにちは、リーダーOBのチューです。現在私は特別支援学校の講師をしています。時間があるときはYMCAの活動に参加することもあります。職場では、主に肢体不自由と知的障害を併せ持つ子どもたちと接しています。学校の子どもの中には、言葉が無く、こちらから声を掛けるときになかなか反応を返すことが難しい子どもたちもいます。初めは、声を掛けても本当に子どもに分かっているだろうか？伝わっているのだろうか？と疑問に思うことや、なぜ今その子が泣いたり、笑ったりしているのか分からず戸惑い、自分のやっていることに意味があるのかと考えることもありました。そのとき、YMCAの先輩に水泳の活動の後、「子どもの表情や行動をよく見て、そのサインを見逃さないことが大切だよ。」と言われたことを思い出しました。それからは、子どもと一緒に学校生活を過ごす中で、その子がどんなことを思っているのかとい

うことを私なりに少しずつ感じ取ろうと努めるようにしました。すると、そのときになぜ泣いているのか、どんなときに笑うのか、怒っているように見えるけど、実は真剣な表情で興味を持って見ているときなのということなどが、少しずつ分かってきました。そうすると、その子どもが以前にも増して可愛らしく思えてきました。どんなに障害の重い子どもでも自分の思いや感情があり、そのことを伝えるのが難しいだけなのだと改めて気付かされました。

私の場合は、悩んでいるとき、不安になっているとき、緊張しているときなど自分の事で精一杯になっているときほど、目の前の子どもたちの姿が見えなくなってしまうのです。YMCAで学んだことをこれからも大切にしながら子どもに接していきたいと思っています。

9月アドベンチャー 秋の1泊2日キャンプ☆

「秋と言えば…キャンプの秋」

今回のアドベンチャーでは八幡平の県民の森キャンプ場に行ってきました。2日間とも思いっきり遊ぶことが出来ました。1日目はテントの組み立てを行ったり、夕食を作ったり、遊んだりしました。テントを建てる時は、グループで相談しながら協力して作っていました。自由時間では、キャンプ場で走り回ったり、野球をしたり、虫を見つけていたりしていました。キャンプ場内あちこちから元気な声が響いていました。夕食作りでは、火付け・料理の2つのグループに分かれて行いました。皆で話し、協力しながら行っていました。みんなで作って食べるご飯は最高でした。ナイトプログラムはキャンプファイヤーを行いました。「猛獣狩り」や「アブラハム」で皆、踊ったり、歌ったりして盛り上がりました。またナイプロ前は曇っていた空も星空へと変化していました。

2日目。朝一で「進化ジャンケン」をして、この日も元気にスタートです！朝食をとり、その後の解体や掃除はグループ毎に協力していました。これまでYMCAのキャンプに参加してきた子どもも多く、作業もスムーズです。すべて終わった後は、みんなで広場へ移動して思いっきり遊びました。広場では野球やサッカーをしたり、探検に行ったり、工作したり…。トンビを追いかけたりもしました。小さな丘からダッシュで往復し、ゼゼエ息を切らしながらも笑顔の子どもたち。前日に負けない位元気な声が響き渡っていました。昼食では、秋らしい少しひんやりした風が吹く中、毛布をこたつのようにして皆でもぐり込み、おにぎりを食べました。たくさん遊んでお腹もすいたようで、なんと!おにぎりを6個も食べる子までいました!!午後子どもたちは全力で遊び続けました。その結果、盛岡に帰ってきた時点で子どもたちもリーダーもはクタクタです。

そのくらい2日間を遊びまくり、皆と充実した時間を過ごすことが出来ました。

文責 盛岡大学児童教育学科4年 三田 庸平 (枝豆リーダー)

アドベンチャー ♪フォトアルバム



9月サンデースクール ★「ブーメランを作ろう」★

を切ったり、マジックでかっこいい模様を描く人、コルクボードを使って、本格的なブーメラン(!?)を作り上げる人、それぞれの良さが出たブーメランを作ることが出来ました。前日から降り続いていた雨も、ブーメラン飛ばしをするときにはすっかり止み、近くの公園で思い切り飛ばして遊ぶことが出来ました。お天道様に感謝です★

実際にブーメランを飛ばしてみるとうまく飛ばなかったり、模様がきれいに見えなかったりと、イメージ通りにいかないこともたくさんありましたが、修正を加えながら挑戦を繰り返していました☆

サンデースクールでは今後もたくさんの企画を用意しています!たくさんの参加を待っています\(^0^)/

文責: 盛岡大学栄養科学部2年 澤口 栞 (おたまリーダー)

9月30日(日)に、前潟センターでサンデースクールが行われました。9月のサンデースクールは「ブーメラン作り」でした。子ども7人、リーダー8人の参加で、みんな自分らしいブーメランを作っていました。牛乳パック



★ リーダー紹介★ その⑥



わたしがモスラです♪

こんにちは\(^0^)/今回は私、盛岡大学児童教育学科1年、ハードルこと嶋崎 恭子 (しまぎ きょうこ) がリーダー紹介を務めさせていただきますっ♪

今回は、盛岡大学児童教育学科1年「モスラリーダー」こと杉村玲奈 (すぎむら れな) を紹介します!彼女はみんなが認める天然です (笑) 予想外の発言・行動をするので、一緒にいるだけで楽しいですよ!でも、ただの天然ではありません!!しっかりと自分の考えを持っていて意見を言うときははっきりと言えます。また、何事もポジティブではじける笑顔で笑うので元気をもらえます☆

そんな彼女の特技は英語の発音!身近な英単語もネイティブに話してくれるのでおもしろいですよ (^ω^)でも、文法は出来ないのが発音してほしい単語・文章を提供してあげてください (笑) そして…変顔も得意です!たくさんレポートももあるし、女子校出身らしいノリの良さで気軽にやってくれますよ (たぶん…) ぜひモスラと変顔勝負をしてみてくださいね♥

ではでは(^)/みなさん風邪などひかないように☆

来月号では、こんなに愉快的なモスラからハードルの紹介をもらおうよ♪

私がモスラを紹介します!!



盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 10月報告書

秋本番の衣替えの10月です。宮古もそろそろ冬支度の季節になってきました。つい先日まで残暑で夏が続いていたのですが、最近は朝晩ぐっと冷え込むようになってきました。

秋と言えば食欲の秋。様々な食材が旬となり、特にさんまをはじめとする海産物がとても美味しい季節です。生さんまを積んだ漁船も定期的に宮古に入港しています。魚市場やインターネットでも通販で取り寄せられますので、漁業復興のためにも美味しい生さんまをぜひ味わってみてください。

さて、YMCA宮古ボランティアセンターは、今月はニーズの掘り起こしのための御用聞き、お話ボランティアなどを近隣の仮設住宅で行ったほか、地域イベントの宮古あきんど復興祭の屋台出店、野外活動宮古アドベンチャークラブ10月例会などを行いました。

御用聞きのために、仮設住宅で一軒ずつ案内手紙を配布いたしました。その後、再び同じところ訪問して、時間をかけて丁寧にフォローの声掛けをしてまいりました。その際、決して無理強いにならないように十分に気をつけて行いました。

世帯数が多い仮設住宅は、午前中だけでは時間が足りず、夕方まで継続して行いました。反応は様々でしたが、中にはわざわざ外に出てきてお話をしてくれた人もいました。楽しく世間話をしている中で、何気なく出てくる本音の部分について積極的にメモを取り、生活支援のために我々が出来るようなことを一緒になって考える機会が重要と考えています。

これから宮古もどんどん寒くなってきます。冬になったら更にニーズが多様化するのではと予想しています。今後も継続して仮設住宅や地域での声掛けを行ってまいります。



← 昼頃になるとたくさんの人が出てきました。



Yのブースは産直農家の前です。 →

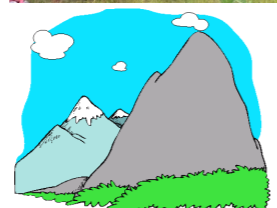
釣りからおぼちゃんが帰ってきました。



← 見晴山で記念撮影



最後の1棟 ↓



↑ 見た目以上に険しい岩場。へばりつくように登って行きました。



↑ 山頂付近。登頂成功のグループです。



↑ 頂上です。兜明神岳は低山ではありますが、岩場ということで山の会のボランティアの方にロープワークのご協力をいただきました。

○宮古アドベンチャークラブ

宮古アドベンチャークラブの10月例会は、盛岡市と宮古市の境に位置する区界高原近くの兜明神岳に行ってきました。今回は区界高原少年自然の家から入山しました。天気予報では降水確率が高く、集合場所の宮古駅では少し雨が降っていましたが、頂上に向かう最後の岩登りの部分がちょっと心配でしたが、現地に到着すると、風は強かったものの、見事に晴れあがりました。参加した皆さんの一人ひとりの祈りが通じたようです。

登り始めると、つつじの丘や見晴山展望台などを通り、途中休憩を取り、記念撮影をしながら、登って行きました。見晴山という名前の通り、見晴らしの良い場所やアップダウンもあり、歩いてとても楽しいコースでした。

頂上近くのかぶと広場に到着すると昼食タイムです。昼食後は、ここをベースにして残り40メートルほど、最後の頂上に向かう急な岩場を三点確保しながら登って行きます。

日本各地の山岳会に所属する、被災地にクライマーを送る会（山の会）のボランティアの方にも、岩場のロープワークをお手伝いいただきました。とても心強い助っ人でした。

頂上までは、出来るだけ身軽な恰好で登るために、荷物は全てかぶと広場に置いて行きました。

小学校1年生から6年生まで全学年参加したのですが、特に低学年と中学年にとってはとてもチャレンジングな場所で、頂上まで行くと、大人でも高所恐怖症の人は足がすくみます。ここでは決して無理をさせず、それぞれ学年と能力にあった登山を行いました。

最終的に山頂まで登頂できた人、できなかった人、様々でしたが、皆さん充実した時間を過ごすことが出来たと同時に、次回来た時の目標と動機づけが出来たのではないかと思います。

宮古アドベンチャークラブは、サマーキャンプ以降、今ではキャンセル待ちが出るほど大人気となりました。

今回のアドベンチャークラブは小岩井農場です。沿岸地域の住む宮古の子どもたちにとっては、岩手山を望む広い農場がとっても新鮮に映ることでしょう。

宮古ボランティアセンター長 大谷

宮古での活動実績	
(9月末日のべ人数)	
☆受益者数	40,477人
☆ボランティア数	15,486人

～表紙の写真よ～



10月8日(日)宮古ボランティアセンターアドベンチャークラブでの1枚。見事、高学年のグループが山頂に到着です!!

盛岡YMCAでも「1ルピーの贈りもの」を10冊限定で販売致します。今すぐ購入したいという方は盛岡YMCA(019-623-1575)までお問い合わせください。ただし、盛岡YMCA本町センターまでお越しいただける方に限ります。

絵本紹介「1ルピーの贈りもの」

この本で絵を担当した柏木牧子さんにご紹介いただきます。

8才のスニタと9才のソビタの姉妹はネパールの山岳地帯ポカラにあるガールズホームに住んでいます。ここは家族が刑務所に入ってしまったって自宅で暮らせなくなった子どもたちのための家。日本人看護師さおりさんと一緒に川に洗濯と水汲みに出かけた日、ふたりは大事にしていたたった一枚の1ルピー硬貨でさおりさんに甘いお菓子「プスタカーリ」を買ってプレゼントします。甘いものが好き、と言っていたのを覚えていて「辛いごはんの後に食べるといいよ」と手渡してくれたのです。1ルピーは1.5円くらい。大事なお金を自分たちのため

でなく大切な人を喜ばせるために使った姉妹は実在の女の子たちです。日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)は使用済み切手を収集して、アジアやアフリカの国に医療従事者を派遣し、それらの国で医療従事者を目指す人々を奨学金で支えている団体です。

絵本「1ルピーの贈りもの」は600円で販売中。

関西事務局
(06-6359-7277)に
お問い合わせ下さいね。



こぼれ種22

「自由であること、維持・継続すること」

日本基督教団内丸教会牧師(元日本YMCA同盟 主事)
中原 真澄

もう随分と前、私が学生YMCA主事をしていた時、今も毎年おこなわれている全国集會に、ある全国紙の記者が参加しました。

いろいろな宗教団体の特集記事を書いていた方でした。YMCAは、日本語では「キリスト教青年会」と呼ばれ、キリスト教を基本に活動していますが、自分たちを「宗教」団体とは考えていません。けれども、キリスト教団体の一つとして紹介したいということでしたので、喜んでご招待したのでした。その後、その新聞に数回にわたり記事が載りました。「はじめて裏と表のない宗教団体に会った」という文が強く印象に残りました。

YMCAがYMCAであるために欠かせないことのひとつが、感じた・思った・考えたことを誰もが発言することが許されている・・・ということでしょう。勿論、安全への配慮と、他者を自分と同じに尊重することは守らなければなりません、そうした原則に配慮しつつ、誰もが対等に発言し、参加できること・・・そのことなしには、YMCAはYMCAではなくなってしまいます。誰もが<その人>であることを尊重される場であることの具体的な表れが、この自由でありましょうから。

「宗教」団体に限らず、オカシイと思っても言うてはいけない・・・そんな裏と表を分けるタブーが幾つかあって<組織>が維持されている団体が、実際は多数なのかも知れません。でも、それで<組織>は守られても、一人ひとりの<人間>は育ちませんし、そんな組織はやがて、時代にそぐわず消えていきます。一人ひとりの自由な批判が許容されていることが、その組織を柔軟に保つ秘訣ですし、何よりも、新しい時代を切り拓いていく<人間>が育っていく場であり続ける秘訣でもあるのですから。

あなたを造られた主は/今、こう言われる。/恐れるな、わたしはあなたを贖う。/あなたはわたしのもの。/わたしはあなたの名を呼ぶ。・・・/わたしの目にあなたは価高く、貴く/わたしはあなたを愛(する)。(イザヤ書43章1~4節)

11月の予定

☆11月4日(日)
盛岡YMCA チャンピオンズカップ
(於：岩手県営運動公園サッカー場)

☆11月10日(土)
宮古ボランティアセンター
アドベンチャー
(於：小岩井農場)

☆11月11日(日)
11月サンデースクール
「スノードーム作り」
(於：盛岡YMCA本町センター)

☆11月18日(日)
11月アドベンチャー
「宝をさがせ!YMCA探検隊」
(於：滝沢村外山森林公園)

☆11月23日(金・祝)
街頭募金 (於：盛岡市大通り周辺)

12月の予定

☆12月8日(土)
キッズクリスマス★ (於：内丸教会)

☆12月26日(水)~29日(土)
エンジョイスキーキャンプ
(於：八幡平リゾートスキー場)

☆12月27日(木)~29日(土)
ジュニアスキーキャンプ
(於：八幡平リゾートスキー場)

感謝

2012年10月30日現在
順不同・敬称略

●東日本大震災被災地支援募金・献品

茨城YMCA、松尾聡子、山田京子、藤井辰夫、横浜西YMCA、日本キリスト教団浦安教会、日本キリスト教団浦安教会、長谷川牧子、佐々木京子、名古屋恒彦、阿部毛糸店、関スミ子、スワン美容室、佐藤ハナヨ、吉田精肉店、大森桂子、坂下信二、日本基督教団池田五月山教会、立教大学YMCA、北ワイズ、西宮ワイズ、日本基督教団番間つきみ野教会、日本基督教団林間つきみ野教会、日本基督教団加藤教会、木下悦子、東矢高明、加藤様、藤原様、柴家様、北村千賀、竹内忠美、堺YMCA、リーダーOB会

●維持会費

角谷晋次、角谷千代子、竹内一真、千葉代子、花田瞳、小畑孝子、吉崎陽、池田二郎、今松桂子、下坊和幸、熊谷力寛、及川夫、及川恵、大開靖二、濱塚秋二、田村治之、工藤泰、重石桂司、伊藤克見、伊藤喜代江、川守浩、工藤直子、名古屋恒彦、水田賢次、千葉代子、阿部靖、北田アユ子、今野聖子、今野健男、清水治彦、岩島隆輔、井上修三、池崇江、伊藤真一、南原良哉、小林茂元、朴正浩、長澤博真、長谷川精一、飯島隆輔、井上修三、井上優子、井上浩太郎、松尾聡子、石渡隆司、古澤伸

●寄付金

角谷晋次、花田瞳、小畑孝子、崎陽、今松桂子、下坊和幸、熊谷力寛、及川茂夫、及川恵、伊藤克見、伊藤喜代江、川守田浩、伊藤賢次、今野聖子、今野健男、伊藤真一、朴正浩、石渡隆司